

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課・文化推進室／(教育総務部)生涯学習課・中央図書館・科学館・スポーツ課

●施策の基本方針(目標)
自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標								
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅱ-3)				単位	%	
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	34.4(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値	32.200	33.400	0.000				
指標②	名称	生涯学習施設の利用者数				単位	人	
	目標値	6,559,586(令和7年度)		現状値	6,202,448(令和元年度)		指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値	4,419,145.000	4,989,558.000	0.000				
指標③	名称					単位		
	目標値			現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値							
指標④	名称					単位		
	目標値			現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値							
指標⑤	名称					単位		
	目標値			現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値							

	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
事業額	事業費	1,862,045	2,222,001	2,252,038	1,579,337	0
	概算人件費	750,469	754,418	744,122	600,782	0
	総事業費	2,612,514	2,976,419	2,996,160	2,180,119	0

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 55	単位施策② 55	単位施策③ 54	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.8	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 生涯学習活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
社会教育活動運営事業	教育総務部	2,114	2,116	2,299	2,299	0	56	現状維持で実施
	生涯学習課	395	385	395	395	0		
社会教育団体補助事業	教育総務部	407	430	1,145	1,145	0	52	現状維持で実施
	生涯学習課	158	154	158	158	0		
市民大学事業	教育総務部	1,843	3,222	3,645	3,645	0	56	現状維持で実施
	生涯学習課	4,740	4,620	4,740	4,740	0		
公民館施設運営費	教育総務部	82,099	108,571	108,042	108,042	0	52	現状維持で実施
	生涯学習課	260,700	254,100	260,700	122,100	0		
中央ふれあい館施設運営費	教育総務部	—	11,976	12,455	12,455	0	52	現状維持で実施
	生涯学習課	—	31,145	31,805	31,805	0		
生涯学習プラザ施設運営費	教育総務部	2,091	2,823	3,103	3,103	0	56	現状維持で実施
	生涯学習課	19,500	19,100	15,800	15,800	0		
文化会館施設運営費	教育総務部	6,894	8,011	7,607	7,607	0	50	現状維持で実施
	生涯学習課	31,100	30,500	31,100	31,100	0		
図書館施設運営費	教育総務部	525,286	519,762	516,039	518,885	0	58	現状維持で実施
	中央図書館	276,500	269,500	276,500	276,500	0		
映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	教育総務部	49,296	49,296	49,297	—	—	54	現状維持で実施
	中央図書館	2,765	2,618	2,686	—	—		
科学展示施設運営費	教育総務部	42,502	43,402	43,702	43,761	0	56	現状維持で実施
	科学館	17,459	17,017	17,617	17,617	0		
天文台施設運営費	教育総務部	465	533	577	600	0	56	現状維持で実施
	科学館	11,929	10,549	10,665	10,665	0		
プラネタリウム施設運営費	教育総務部	16,529	15,896	16,527	16,956	0	56	現状維持で実施
	科学館	13,509	13,167	12,324	12,324	0		
特別企画事業費	教育総務部	6,743	6,841	7,633	7,592	0	58	現状維持で実施
	科学館	7,268	7,623	7,663	7,663	0		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	教育総務部	1,200	843	1,500	1,500	0	54	現状維持で実施
	スポーツ課	632	462	553	553	0		
体育施設維持補修費	教育総務部	66,332	56,417	53,500	53,500	0	58	現状維持で実施
	スポーツ課	8,295	2,695	2,765	2,765	0		
体育施設整備費	教育総務部	111,324	219,034	297,730	297,730	0	58	現状維持で実施
	スポーツ課	2,449	3,465	3,555	3,555	0		
スポーツ推進審議会事業	教育総務部	168	223	194	194	0	58	現状維持で実施
	スポーツ課	1,185	770	1,580	1,580	0		
中学校・高等学校運動指導者派遣事業	教育総務部	1,286	1,593	2,420	2,420	0	56	拡充して実施
	スポーツ課	632	539	553	553	0		
各種体育大会開催事業	教育総務部	296	339	494	494	0	54	現状維持で実施
	スポーツ課	2,765	2,310	2,370	2,370	0		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
体育関係表彰事業	教育総務部	329	644	709	709	0	50	現状維持で実施
	スポーツ課	2,765	2,926	2,844	2,844	0		
ソーデーマーチ実行委員会交付金	教育総務部	250	1,978	1,978	1,978	0	52	現状維持で実施
	スポーツ課	6,960	4,620	4,740	4,740	0		
学校体育協会事業	教育総務部	2,323	2,823	4,275	4,275	0	56	現状維持で実施
	スポーツ課	5,293	6,160	5,056	5,056	0		
スポーツ協会事業	教育総務部	41,921	53,312	61,064	61,064	0	56	現状維持で実施
	スポーツ課	2,370	2,310	3,002	3,002	0		
スポーツ推進委員協議会事業	教育総務部	10,933	11,494	12,727	13,079	0	56	現状維持で実施
	スポーツ課	4,740	5,005	4,977	4,977	0		
レクリエーション協会事業	教育総務部	2,205	3,845	3,878	3,878	0	54	現状維持で実施
	スポーツ課	4,898	4,697	5,135	5,135	0		
スポーツ少年団事業	教育総務部	1,200	1,200	1,200	1,200	0	56	現状維持で実施
	スポーツ課	5,293	4,928	5,135	5,135	0		
スポーツ推進補助事業	教育総務部	14,117	15,557	15,927	15,927	0	54	現状維持で実施
	スポーツ課	1,185	1,001	1,185	1,185	0		
青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	教育総務部	160,714	164,448	160,715	160,715	0	56	現状維持で実施
	スポーツ課	2,449	3,311	3,160	3,160	0		
戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	教育総務部	140,406	140,406	176,000	176,000	0	58	現状維持で実施
	スポーツ課	2,449	3,311	3,160	3,160	0		
青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認更新事業	教育総務部	—	110,353	—	—	—	58	完了
	スポーツ課	—	1,155	—	—	—		
スポーツ教室開催事業費	教育総務部	1,158	1,222	1,351	1,351	0	54	現状維持で実施
	スポーツ課	553	616	1,106	1,106	0		

単位施策名 ③ 文化芸術活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
市民コンサート事業	市民生活部	770	855	1,104	1,104	0	58	現状維持で実施
	文化推進室	2,212	2,156	1,896	1,896	0		
文化振興交付事業	市民生活部	11,834	13,424	12,889	12,889	0	56	現状維持で実施
	文化推進室	10,349	10,549	10,981	10,981	0		
美術館建設等検討事業	市民生活部	12,220	38,833	39,774	39,774	0	56	拡充して実施
	文化推進室	2,686	3,465	3,555	3,555	0		
寄贈作品展等事業	市民生活部	5,340	17,320	—	—	—	48	他事業に統合されて実施
	文化推進室	2,291	2,233	—	—	—		
アートギャラリー企画関係費	市民生活部	6,622	2,686	—	—	—	54	他事業に統合されて実施
	文化推進室	12,640	5,929	—	—	—		
総合文化センター指定管理者管理運営費	市民生活部	519,600	579,400	627,072	0	0	56	現状維持で実施
	自治振興課	2,054	2,002	2,054	0	0		
芸術賞賞賜事業	市民生活部	911	897	1,245	1,245	0	56	現状維持で実施
	文化推進室	2,054	2,156	1,580	1,580	0		
文化団体補助事業	市民生活部	1,900	1,900	1,900	1,900	0	56	現状維持で実施
	文化推進室	1,027	1,232	711	711	0		
文化芸術体験事業	市民生活部	0	182	321	321	0	58	現状維持で実施
	文化推進室	0	2,464	316	316	0		
アートギャラリー事業運営費	市民生活部	10,417	7,894	—	—	—	50	他事業に統合されて実施
	文化推進室	14,220	11,473	—	—	—		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	社会教育活動運営事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援		
根拠法令等	川口市社会教育委員設置条例 第1条/川口市公民館運営審議会条例 第1条/川口市生涯学習プラザ運営審議会条例 第1条/川口市中央ふれあい館運営審議会条例 第1条		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	社会教育委員、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会	社会教育施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市社会教育の諸事業について、市民の意見を広く反映させるため、審議意見助言をいただくものである。また、公民館等の運営審議会については、地域住民の意見、要望等を十分に反映するため、館長の諮問機関として会議を実施する。	社会教育関係委員会議の開催 ・社会教育委員会議 ・公民館運営審議会 ・生涯学習プラザ運営審議会 ・中央ふれあい館運営審議会	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	社会教育委員会議、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会を開催した。	社会教育の諸事業・施設運営について審議し、委員をとおして市民の意見を広く反映させることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数			指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会議及び公民館等運営審議会の開催回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	36.00		36.00		36.00		36.00		36.00
	実績値・達成状況	37.00	—	36.00	達成	36.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	1 目	2 細目	1 細々目	社会教育活動運営事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	2,344	2,224		2,299		2,299		2,299		
決算額(B)=(C)+(D)	2,157	2,114		2,116						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,157		2,114		2,116		2,299		2,299
概算人件費(E)	395		395		385		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,552		2,509		2,501		2,694		2,694	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	特になし。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	社会教育団体補助事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	・川口市補助金等交付規則・川口市婦人団体連絡協議会補助金交付要綱・川口市PTA連合会補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口市PTA連合会 ・川口市婦人団体連絡協議会	・川口市で教育を受ける子供 ・婦人団体活動に関わる市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図ることを目的とする。	川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会に対し、補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	各団体の運営費のうち、会議費・研修費等、事業にかかる経費の一部を助成した。	・市内各学校PTA相互の連絡調整及び本市教育の向上の進展に寄与した。 ・市内婦人団体の育成に努めるとともに健全なる家庭生活の建設に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)							
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	目標値										
	実績値・達成状況										
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)							
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	目標値										
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	1 目	2 細目	3 細々目	社会教育団体補助事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	1,145	1,145		1,145		1,145	1,145			
決算額(B)=(C)+(D)	1,102	407		430						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,102		407		430	1,145			
概算人件費(E)	158		158		154	158		158		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,260		565		584	1,303		1,303		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	特になし。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	市民大学事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市民大学設置要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	市内在住・在勤・在学の18歳以上の方	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	生涯学習が進展する中で、市民の高度で多様な学習意欲に応える。 市民が「生きがいづくり」「自己実現」を達成し、より豊かで充実した人生を送ることに貢献する。	市内外の高等教育機関や公民館等の社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等を取りあげる講座を開催する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	大学講師、川口市人材バンク魅学、川口市役所内の各課・所等に協力をいただき、歴史、環境、情報機器、公共施設見学等広い分野について、対面・動画視聴といったオンライン講座で実施した。	歴史、環境、情報機器、公共施設見学等多岐にわたる35講座、136回を実施し、市民の学習意欲に応えることを目的として実施し、動画視聴5講座20回のオンライン講座を実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市民大学講座数			指標・目標値の説明(算定式)	35講座実施する				
	単位	講座	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	0.00		33.00		未達成 36.00		達成 36.00		達成 0.00
指標②	名称	受講生の満足度			指標・目標値の説明(算定式)	受講生アンケートにおいて、「とても満足」「満足」と回答した割合の平均値				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	0.00		85.00		達成 85.00		達成 85.00		達成 0.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	1 目	4 細目	1 細々目	市民大学事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	0	2,226		3,877		3,645		3,645		
決算額(B)=(C)+(D)	0	1,843		3,222						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		300		
	一般財源(D)	0		1,843		3,222		3,345		
概算人件費(E)	0		4,740		4,620		4,740		4,740	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		6,583		7,842		8,385		8,385	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	例年の市民大学受講者は、60代や70代の高齢者が多かったが、オンライン講座の受講者では20代、30代の働き世代の受講が見受けられた。今後も、若者の参加を促せるような企画をしていきたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	公民館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7654	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公民館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	住民への学習機会の提供と多くの人々の新たな交流の場の提供を目的としている。	社会の要請や個人の要望に応えることができるよう、現代的課題を中心とした多種多様な講座の実施や、生涯各期にあわせた事業を展開している。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、市民に施設の貸出及び講座を実施した。	市民の一般的教養が向上し、公民館活動を通じて地域の活性化に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室開催件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	830.00		830.00		830.00		830.00		830.00	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	2 目	1 細目	1 細々目	公民館施設運営費					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	91,034	82,355		123,431		108,042		108,042				
決算額(B)=(C)+(D)	69,436	82,099		108,571								
財源※	特定財源(C)	38,930	0		0		0					
	一般財源(D)	30,506	82,099		108,571		108,042					
概算人件費(E)	260,700	260,700		254,100		260,700		122,100				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	330,136	342,799		362,671		368,742		230,142				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	コロナ禍においても、幅広い年齢層の方々を利用して、市民の多様な学習ニーズはますます高度化しているため、事業内容の充実が求められていた。このことから、感染症対策を講じつつ、オンライン講座の活用を含め、魅力ある内容の事業を実施するよう努めた。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	中央ふれあい館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-222-2798	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援		
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中央ふれあい館利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の自発的学習を奨励助長し、知識の習得及び技術の向上を目指す。特に高齢者については交流の場作りとする。	学習内容にふさわしい施設の提供及び市民のニーズに応じた講座を開催する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	高齢者向けに健康増進と維持に関する若返り健康講座、そして終活ナビ、一般向けに深堀り!かわぐちの歴史、そば打ち教室、手作り味噌教室、子ども向けに子どもスポーツひろば、子ども料理教室などを実施した。	川口駅に近いという利便性があり、また貸出し可能な部屋数も多いことから多数の方が利用したことで、市民の生涯学習活動の支援に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(中央ふれあい館)			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	-	-	-	151,220.00	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10款	6項	3目	1細目	1細々目	中央ふれあい館施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	8,934	8,938		12,688		12,455	12,455			
決算額(B)=(C)+(D)	6,708	8,506		11,976						
財源※	特定財源(C)	6,601		0		0				
	一般財源(D)	107		8,506		11,976	12,455			
概算人件費(E)	31,385		31,385		31,145		31,805	31,805		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.20	1.65	3.20	1.65	3.30	1.55	3.30	1.55
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	38,093		39,891		43,121		44,260	44,260		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 /60	コロナ渦の状況ではあったが、感染予防対策を行うことで、計画していた講座を実施することができた。引き続き参加者の安全面を考慮し、講座開催方法の検討・改善に努める。今後も施設の良好な維持管理に努め、地域の多様化するニーズを速やかに把握し、事業内容に反映できるよう努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	生涯学習プラザ施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	253-1444	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立生涯学習プラザ設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	生涯学習プラザ利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民へ生涯にわたる学習の機会を提供し、市民相互の学び合い及び交流を促進することにより、生涯学習活動の振興を図るとともに、福祉の増進に寄与することを目的とする。	現代的・社会的課題への対応として、環境教育・消費者教育及び高齢者教育等の事業の実施の他に、子育て支援や趣味・教養の事業の充実を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	赤ちゃんと一緒にふれあいセミナー 親子パン作り教室 漢方薬学入門講座 気象と防災講座 手作りみそ教室 親子料理教室	新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、自然科学の講座や子育て支援の講座を実施した。市民へ学習の機会を提供し、生涯学習活動の支援に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(生涯学習プラザ)			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	28,732.00	達成	37,039.00	達成	48,918.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	4 目	1 細目	1 細々目	生涯学習プラザ施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	3,306	3,379		3,102		3,103		3,103		
決算額(B)=(C)+(D)	1,578	2,091		2,823						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,578		2,091		2,823		3,103		3,103
概算人件費(E)	19,500		19,500		19,100		15,800		15,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	1.00	2.00	1.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,078		21,591		21,923		18,903		18,903	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら事業を実施した。今後については、事業を行う中で感染予防対策をしっかりと行い、多様化するニーズの把握に努め、施設の特徴に応じて事業を実施する。また、施設の利用率が低下しないよう施設の維持管理に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	文化会館施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-3612	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内在住・在勤者、および利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。	音楽会、講演会などの主催および共催事業の実施。 ①おかあさんコーラスの集い ②サロンコンサート	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	①おかあさんコーラスの集い ②サロンコンサート・・・新型コロナウイルス感染症予防のため中止	事業が実施されれば、多くの川口市市民の芸術・文化活動の発展に寄与することができる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業における年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	0.00		0.00		未達成		103.00		未達成
指標②	名称	貸館事業における年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	10,325.00		19,278.00		未達成		26,800.00		未達成

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	5 目	1 細目	1 細々目	文化会館施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	8,008	7,804		9,068		7,607		7,607		
決算額(B)=(C)+(D)	6,617	6,894		8,011						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	6,617		6,894		8,011		7,607		7,607
概算人件費(E)	23,200		31,100		30,500		31,100		31,100	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,817		37,994		38,511		38,707		38,707	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	(1)地域の諸機関、団体と連携し、各種事業を展開する。 (2)市民ニーズに応えられる芸術・文化を低廉な価格で提供する。 (3)地域の学校と連携し、生徒・児童に対して、芸術・文化に触れ、発表する機会を提供していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	図書館施設運営費			担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館管理規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	全市民(施設利用者)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の知的自由を支え、知的欲求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援する。	生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・10月から電子図書サービス、宅配サービスを開始した。 ・貸出点数を増やした(図書10冊から20冊に、CD・DVD等3点から5点に変更)。 ・感染対策を講じて、11月から対面朗読サービスを再開した。	安全に配慮したサービス提供を行った活動結果として、入館者1,405,480人、移動図書館利用者4,077人の利用があった。成果として、個人の生活を豊かにし、社会の一員としての能力を高めるという生涯学習の充実に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(図書館)			指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数。目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	1,759,408.00		1,744,581.00		1,730,007.00		1,715,680.00		1,701,596.00
	実績値・達成状況	988,335.00	未達成	1,380,848.00	未達成	1,405,480.00	未達成			
指標②	名称	おはなし会参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数。目標値:前年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	6,800.00		6,800.00		6,800.00		6,800.00		0.00
	実績値・達成状況	155.00	未達成	899.00	未達成	2,917.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	6 目	2 細目	1 細々目	図書館施設運営費				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	513,948	528,395		522,209		516,039	518,885				
決算額(B)=(C)+(D)	509,684	525,286		519,762							
財源※	特定財源(C)	32,271	109,127		49,734		83,619				
	一般財源(D)	477,413	416,159		470,028		432,420				
概算人件費(E)	276,500	276,500		269,500		276,500	276,500				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	786,184	801,786		789,262		792,539	795,385				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 /60	魅力ある蔵書構成、企画展示及び電子図書サービス等の新規サービスの利用啓発を行い、市民等の生涯学習活動の支援を行う。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	映像・情報メディアセンターを管理運営する指定管理者	全市民(施設利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	多様な住民ニーズに広く対応するため、指定管理者による柔軟かつ総合的な施設運営及びメディアコンテンツを通じた事業等を行い、住民サービスの向上を図ることを目的とする。	映像・情報メディアセンター各種施設の利用提供及び指定管理者が費用等を負担して自らが企画する自主事業を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・十分な感染予防策の実施により、各種ワークショップ・イベント、企画展示などのサービス業務を継続 ・リモートワーク、読書・学習用「ワーキングスペース」の貸出(令和2年度から実施)	活動結果としてワークショップ・イベントに9,391人、企画展示に12,756人の参加があった。また、令和2年10月よりオープンした「ワーキングスペース」を継続し、テレワークの支援と住民等のニーズに即したサービスを引き続き実施した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:メディアセンターに来館した人数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	29,957.00 未達成		44,323.00 未達成		70,492.00 未達成				
指標②	名称	貸出施設利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:各種スタジオ(貸館用)の利用件数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	1,543.00 未達成		2,560.00 未達成		3,598.00 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		10 款	6 項	7 目	1 細目	1 細々目	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			
年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	49,297		49,297		49,297		49,297		49,297		
決算額(B)=(C)+(D)	49,296		49,296		49,296						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	49,296		49,296		49,296		49,297			
概算人件費(E)	2,607		2,765		2,618		2,686		2,686		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.35	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	51,903		52,061		51,914		51,983		51,983		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	課題は施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善策として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりとった上で施設の知名度の向上を図り、魅力ある事業を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	科学展示施設運営費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学展示施設利用者、館外事業(科学出張教室、講師派遣)参加者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	実験ショー、科学体験教室、科学出張教室、講師派遣における理科指導などの実施 展示解説・受付案内・各種事業補助のインストラクター業務の委託	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	科学の原理について学びながら体験することができる「サイエンスショー」、「わくわくワーク」、テーマのあるものづくり・実験・観察を行う「どきどきサイエンス」(インストラクターによる委託事業)、及び「科学ものづくり教室」「夏休み科学教室」等各種講座の開設、博学連携としての出張教室等を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら実施した。様々な事業・講座を活用し、科学の原理原則を参加者が楽しみながら学ぶことができた。館外における事業を通じて、学校における学力向上の一環及び理科好きの児童生徒の育成としても効果的に活用された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値78,891人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値					80,993.00	75,811.00	76,570.00	77,336.00	78,110.00
	実績値・達成状況					27,825.00 未達成	55,031.00 未達成	77,408.00 達成		
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値9,082人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値					8,091.00	8,727.00	8,815.00	8,903.00	8,992.00
	実績値・達成状況					3,332.00 未達成	3,320.00 未達成	5,873.00 未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	9 目	2 細目	1 細々目	科学展示施設運営費					
年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	42,396	42,635			43,473		43,702		43,761			
決算額(B)=(C)+(D)	42,049	42,502			43,402							
財源※	特定財源(C)	3,368	6,120			8,072		7,280				
	一般財源(D)	38,681	36,382			35,330		36,422				
概算人件費(E)	18,170	17,459			17,017		17,617		17,617			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.30	0.00	2.21	0.00	2.21	0.00	2.23	0.00	2.23	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	60,219	59,961			60,419		61,319		61,378			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	段階的に各事業の制限をコロナ以前の運用に戻した結果、館内事業はコロナ以前に迫る実績となった。今後も魅力ある事業を発信し、コロナ後も入館者数の増加に努める。また、経年劣化による展示装置の故障となる前に修繕の改修工事が実施できるよう計画を進める必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	天文台施設運営費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学館利用者、観測会参加者、出張事業参加者、関係機関	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本物の天体を、実際に観測・体験することで深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。	第二、第四土曜日に天文台で実施する夜間観測会。太陽観測を中心に三つの天文台を案内する天文台ガイドツアー。天文現象等に合わせた実施する特別観測会。小中学校等に出張し太陽観測、天体観望会を行う出張事業。天文台で撮影した天体の画像をリアルタイムに配信する夜間天体ライブ配信。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	夜間観測会を定例で実施し、11日(1日2回で合計22回)実施、天文台ガイドツアーを34回開催。11月8日に特別観測会「皆既月食」を実施。太陽観測出張授業を10・11月に5校で各1回実施。夜間出張観望会を11月に小・中学校で2回実施。天体画像をライブ配信した特別ライブ配信事業は2回実施。	特別観測会「皆既月食」においては、注目度の高い天文現象ということもあり、令和3年度に比して3倍以上の参加者数となった。消毒、換気、人数制限等、感染対策を行うことで定例の夜間観測会を再開することができ、年齢問わず多くの方々に対し、興味・関心を高める機会を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び観測授業参加者数。令和7年度の目標値1,379人に向けて設定。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況	1,312.00		1,325.00		1,338.00	1,351.00		1,365.00	
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値1,386人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況	682.00		351.00		300.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10款	6項	9目	2細目	2細々目	天文台施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	680	674		612		577		600		
決算額(B)=(C)+(D)	474	465		533						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	474		465		533		577		
概算人件費(E)	12,561		11,929		10,549		10,665		10,665	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.59	0.00	1.51	0.00	1.37	0.00	1.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,035		12,394		11,082		11,242		11,265	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	天文台では限られたスペースに参加者が入り、かつ機材を共用することが必要になるため、基本的感染対策は継続し、安全に事業を実施していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	プラネタリウム施設運営費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	プラネタリウム施設利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	天候や時間帯に左右されずに、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。	当日の星空解説、天文トピックスの紹介と番組の投影を行う一般投影。子ども(小学校低学年)向けに星空解説を行うキッズアワー。小中学校の授業の一環として行う投影や保育所等の幼児対象の投影を行う学習投影。季節のイベントに合わせた特別投影「七夕・クリスマス・星空リラクゼーション」。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	小学生から大人まで対象の一般投影は木曜・土曜・日曜・祝日と夏・冬・春休みの火曜～金曜日に455回実施。日曜、祝日にキッズアワーを62回実施。小中学校の理科の授業として行う学習投影や保育所等の幼児を対象とした投影を128回実施。特別投影「七夕・クリスマス・星空リラクゼーション」を7回実施。	星空解説は、専門職員による生解説を行うことで実際の星空への興味・関心へとつなげ、天文への教育普及を高める効果があった。番組の投影は季節毎に探査機や流星群など話題性を鑑み、天文・科学に関する内容を楽しみながら学ぶ機会にもなった。小中学校の授業の一環としての学習投影では、プラネタリウムを通じ星や宇宙への学習理解が深まった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値36,655人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値					37,842.00	35,226.00	35,578.00	35,934.00	36,293.00
	実績値・達成状況	12,345.00	未達成	25,962.00	未達成	39,488.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10款	6項	9目	2細目	3細々目	プラネタリウム施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	13,540	16,629		16,174		16,527		16,956		
決算額(B)=(C)+(D)	13,412	16,529		15,896						
財源※	特定財源(C)	2,777	5,159		8,161		7,489			
	一般財源(D)	10,635	11,370		7,735		9,038			
概算人件費(E)	13,272	13,509		13,167		12,324		12,324		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.68	0.00	1.71	0.00	1.71	0.00	1.56	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,684	30,038		29,063		28,851		29,280		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	感染症法上の位置付け変更に伴い、国からの一律的な対策は求められなくなるが、基本的な感染対策は継続し、安全に事業を実施する。事業の広報については、実施する範囲や対象などを見直し、効果的な広報活動に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	特別企画事業費			担当	教育総務部 科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり① 生涯学習活動の支援
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	科学展示施設利用者、市内小・中・高校生	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	常設展示物にはない分野から、1つのテーマを魅力的・専門的に掘り下げる特別展を開催することで、常設展示物とは別の視点から科学に親しむ機会を提供する。また、幅広い年代を対象とした専門性の高い講座や講演会を開催し、参加者が課題意識を持ち、生涯にわたり学ぶ力を身に付ける場を提供する。	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの人材派遣や展示物の借用、テーマに精通した業者への委託等を活用し、特別展などを開催する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	国立科学博物館他、多くの関係機関と連携し、特別展「たまご展」を開催した。また、元素をテーマに体験型の特別展「すごいぞ！元素」を開催した。「サイエンスまつり」では、全国科学連携協議会、危機管理課、消防局と連携し、防災をテーマに企画展示を実施し、幅広い世代に学びを深める事業を開催することができた。	「たまご展」については、鶏卵の孵化の過程を展示したことで、雛の誕生までの21日間の期間に何度も来館する方が多く、年間券は前年同期比1.5倍増の発行数となった。魅力あるテーマ展示を専門的な視点で実施することで、来館者の満足度を高めることができた。さらに、他課との連携により、科学館を情報発信の場として活用することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値29,647人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	30,930.00		28,488.00		28,774.00		29,062.00		29,353.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	9 目	2 細目	4 細々目	特別企画事業費					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	857	7,056		6,962		7,633		7,592				
決算額(B)=(C)+(D)	680	6,743		6,841								
財源※	特定財源(C)	0		421		0		500				
	一般財源(D)	680		6,322		6,841		7,133				
概算人件費(E)	6,794		7,268		7,623		7,663		7,663			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.86	0.00	0.92	0.00	0.99	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,474		14,011		14,464		15,296		15,255			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	利用者の関心が高いテーマを、専門的に解説する特別展を実施するため、十分な情報収集と準備期間が不可欠となる。今後も魅力ある事業展開をしていくため、他館との協力や視察、職員の研修等、計画的に事業を進めることが必要となる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	川口市オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	JOC強化指定選手又は、加盟団体強化指定選手 JPC強化指定選手又は、加盟団体強化指定選手 埼玉県「彩の国プラチナスリート」強化指定選手 埼玉県「埼玉パラドリームアスリート」強化指定選手	同左のうち、市内在住者、市内在勤者、市内在学者、過去に市内に住居かつ在学していた者。	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	オリンピック・パラリンピック強化指定選手に激励金を交付することにより大会出場に向けた競技力の向上を図るとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図ることを目的とする。	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付するもの	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付した。	東京2020オリンピック・パラリンピックでは激励金を交付した選手がメダルを獲得するという結果につながり、市民のスポーツへの関心向上に良い影響を与えた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	7 細々目	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	2,500	2,000		1,500		1,500	1,500					
決算額(B)=(C)+(D)	1,100	1,200		843								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	1,100	1,200		843		1,500					
概算人件費(E)	632	632		462		553	553					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.08	0.00	0.06	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,732	1,832		1,305		2,053	2,053					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	より効果的な、支援額や支援枠の設定について検討していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	体育施設維持補修費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設の維持補修を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、維持補修を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事	老朽化した体育施設を維持するための修繕及び補修工事を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	1 細目	2 細々目	体育施設維持補修費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	72,051	66,539		63,257		53,500	53,500			
決算額(B)=(C)+(D)	71,742	66,332		56,417						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	71,742	66,332		56,417		53,500			
概算人件費(E)	8,295	8,295		2,695		2,765	2,765			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.05	0.00	1.05	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	80,037	74,627		59,112		56,265	56,265			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設を維持するための修繕及び補修工事を行う必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、施設の維持補修を行っていく必要がある。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	体育施設整備費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	体育施設	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	施設管理運営に必要な施設整備を行う。	安全・安心に施設利用ができるよう、より一層の施設整備を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	老朽化した体育施設の改修及び補修工事	老朽化した体育施設の施設整備を行うことにより、利用者が安全・安心に施設利用することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	1 細目	3 細々目	体育施設整備費	
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度	
予算額(A)	391,831	116,091		244,991		297,730	297,730	
決算額(B)=(C)+(D)	376,314	111,324		219,034				
財源※	特定財源(C)	107,000	35,300		144,900		265,100	
	一般財源(D)	269,314	76,024		74,134		32,630	
概算人件費(E)	2,765	2,449		3,465		3,555	3,555	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.31	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	379,079	113,773		222,499		301,285	301,285	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、施設の設備等の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。利用者の安全・安心を確保するためには、早期に施設整備を行う必要がある。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	スポーツ推進審議会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進審議会委員	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの推進に関する事項について調査審議する。	年2回程度会議を開催。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	第1回川口市スポーツ推進審議会(令和4年7月27日) 第2回川口市スポーツ推進審議会(令和5年3月22日) 第1回川口市スポーツ推進審議会 専門部会(令和4年11月18日) 第2回川口市スポーツ推進審議会 専門部会(令和5年1月23日)	スポーツの推進に関する事項について調査審議することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	1 細々目	スポーツ推進審議会事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	179	194		224		194		194				
決算額(B)=(C)+(D)	154	168		223								
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	154		168		223		194				
概算人件費(E)	1,185		1,185		770		1,580		1,580			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.10	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,339		1,353		993		1,774		1,774			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	川口市のスポーツの推進及び振興のため調査・審議し、スポーツ行政に反映していく必要がある。また、神根運動場整備について、市民ニーズに基づいた審議を行う。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)	
	中学校・高等学校の運動部			中学校・高等学校の運動部員	
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。			指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】	
	指導者は各学校の運動部活動における技術指導への協力を行った。			専門的な技術を備えた指導者を派遣することにより、市内中学校・高校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、指導を受けた生徒の部活動に対する意欲が高まり、競技力の向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校27人、高等学校2人、計29人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	29.00		29.00		29.00		39.00		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	2 細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	2,095	2,090		2,090		2,420		2,420		
決算額(B)=(C)+(D)	759	1,286		1,593						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	759		1,286		1,593		2,420		
概算人件費(E)	632	632		539		553		553		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.08	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,391	1,918		2,132		2,973		2,973		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	学校、指導者のニーズを把握し、どちらにとっても活用しやすい事業として実施していく必要がある。部活動の地域移行とも関連付けて検討していく必要がある。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	各種体育大会開催事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	各大会開催要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	各種体育大会	児童・生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ活動をとおして児童・生徒の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会 中学校駅伝競走	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・少年少女スポーツ大会(剣道) ・少年少女ふれあいなわとび大会(11月、3月の2回通信制により開催) ・中学校駅伝競走大会	スポーツ大会を通じて技量の向上が図られるとともに、児童・生徒の体力の向上が図られた。また、大会に向けて練習に粘り強く取り組みなど、精神面の成長が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学校52校×1校平均55人×2回=5,720人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	30,054.00		達成		26,552.00		達成		23,032.00
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人=338人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	99.00		未達成		192.00		未達成		207.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	3 細々目	各種体育大会開催事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	470	465		448		494		494		
決算額(B)=(C)+(D)	210	296		339						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	210		296		339		494		
概算人件費(E)	2,923		2,765		2,310		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.37	0.00	0.35	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,133		3,061		2,649		2,864		2,864	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	施設規模に応じた大会方法の立案の検討も必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	体育関係表彰事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	川口市体育賞表彰要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ活動において功労のあった者及び活躍した選手	受賞者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたりスポーツ活動において功労のあった者及び年間を通じて活躍した選手または団体に対し、市または教育委員会が表彰する。	川口市体育三賞授与式・会場借上げ・看板製作委託	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	川口市体育三賞授与式(令和5年1月27日:川口リリア音楽ホール)を開催。	大会において優秀な成績を収めたアスリートを表彰できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	4 細々目	体育関係表彰事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	578	601		686		709		709				
決算額(B)=(C)+(D)	281	329		644								
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	281		644		709						
概算人件費(E)	2,765		2,765		2,926		2,844		2,844			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.38	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,046		3,094		3,570		3,553		3,553			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	11 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	多くの競技団体が全国大会を実施する中で、大会規模や参加者の参加資格などにより、真に表彰にふさわしい大会が精選する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	ツデーマーチ実行委員会交付金			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	ツデーマーチ実行委員会交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ツデーマーチ実行委員会	ツデーマーチ参加者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	体力低下が社会問題となっていることから、補助金を交付することで、事業の推進を図る。	大会を企画運営し、市内外からのウォーカーにウォーキングの場を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	令和4年9月17日、18日に第15回川口ツデーマーチを実施した。	1日目776人、2日目431人、2日間合計1,207人の参加者のもと、開催した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	5 細々目	ツデーマーチ実行委員会交付金				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	1,978	250		1,978		1,978	1,978				
決算額(B)=(C)+(D)	283	250		1,978							
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0	0			
	一般財源(D)	283	250		1,978		1,978	1,978			
概算人件費(E)	4,345	6,960		4,620		4,740	4,740				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.55	0.00	0.60	0.60	0.60	0.00	0.60	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,628	7,210		6,598		6,718	6,718				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	参加者が減少していることから、広報活動を充実させる必要がある。参加者のニーズにあったコース設定など参加者にとって魅力的な大会にしていく必要がある。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	学校体育協会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	スポーツ基本法/学校体育奨励交付金要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市学校体育協会	・市立小・中・高等学校の児童・生徒	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市立小・中・高等学校教育の一環として、児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会の一部を助成する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・小学校地区陸上大会 ・体育実技伝達講習会の一部を助成した。	・中学校体育大会の開催により、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。 ・指導者の資質・向上を図ることで、児童・生徒のスポーツに親しむ資質・能力の向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	1 細々目	学校体育協会事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	3,420	2,323		2,823		4,275	4,275					
決算額(B)=(C)+(D)	2,323	2,323		2,823								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	2,323	2,323		2,823		4,275	4,275				
概算人件費(E)	5,293	5,293		6,160		5,056	5,056					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.67	0.00	0.67	0.00	0.80	0.00	0.64	0.00	0.64	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,616	7,616		8,983		9,331	9,331					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	大会運営を行う教員の負担軽減策の立案。 ポストコロナ時代の大会運営の在り方の検討。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	スポーツ協会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	63	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市スポーツ協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	スポーツの功績を表彰し榮譽を讃え、活力と向上精神を刺激することで、スポーツの普及発展につなげる。 また、川口市のスポーツ情勢を幅広く市民に周知し、情報を提供することにより市民のスポーツ参加を促し、スポーツの意識向上を図る。	スポーツ教室及び各種スポーツ事業等の実施や、スポーツに関する講演会の実施などで人材育成を行う。 また、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰などで、より一層の活気を見だし、更には広報誌の発刊及びその他の広報活動でスポーツの普及を行っている事業の一部を助成する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルスの影響により事業の縮小、一部中止などはあったが、川口マラソン、スポーツ教室、各種スポーツ大会、スポーツに関する講演会、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰、広報誌の発刊などの事業費の一部を助成した。	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなった。また、スポーツ表彰により、一層のスポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	2 細々目	スポーツ協会事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	61,222	61,222		61,012		61,064	61,064			
決算額(B)=(C)+(D)	38,471	41,921		53,312						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	38,471	41,921		53,312		61,064	61,064		
概算人件費(E)	2,370	2,370		2,310		3,002	3,002			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	40,841	44,291		55,622		64,066	64,066			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、交付目的達成のための必要性を審査しながら、交付を行う必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	スポーツ推進委員協議会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ推進委員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	ニュースポーツを広めるなど、スポーツ全般的な推進につながるよう交付を行っているもの。	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行うもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	スポーツ推進委員協議会の事業費(講習会・研修会・印刷・調査研究・大会・表彰・負担金・保険等)に対し助成を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業もあるが、市民の求めに応じてスポーツの実技や指導を行い、積極的に地域の大会やイベントにも関わることにより、市民スポーツの推進に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数			指標・目標値の 説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。				
	単位	回	指標の種別	活動		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	5.00		5.00	5.00	5.00	5.00	0.00		
	実績値・達成状況	2.00	未達成	4.00	未達成	5.00	達成			
指標②	名称	スポーツ推進委員数			指標・目標値の 説明(算定式)	本市における定数314人				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	314.00		314.00	314.00	314.00	0.00			
	実績値・達成状況	296.00	未達成	290.00	未達成	292.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	3 細々目	スポーツ推進委員協議会事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	12,842	12,712		12,924		12,727		13,079		
決算額(B)=(C)+(D)	11,219	10,933		11,494						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	11,219		10,933		11,494		12,727		
概算人件費(E)	5,135		4,740		5,005		4,977		4,977	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.60	0.00	0.65	0.00	0.63	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,354		15,673		16,499		17,704		18,056	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	スポーツ推進委員の活動は、地区ごとの特色が強く、統一的な活動状況の確保は困難である。しかしながら、今後においては各地区間の情報交換を図るとともに委員の質を高め、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に進めていく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	レクリエーション協会事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市レクリエーション協会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	レクリエーション協会として事業を行うことにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・中学校) 市民レクリエーション祭 各種大会沿道警備 各種会議、表彰の一部を助成する。 	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・中学校) 市民レクリエーション祭 各種大会沿道警備 各種会議、表彰の一部を助成した。 	様々な事業を通じて、市民の健康増進と体力向上に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	4 細々目	レクリエーション協会事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	3,878	3,878		3,845		3,878		3,878		
決算額(B)=(C)+(D)	2,096	2,205		3,845						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,096		2,205		3,845		3,878		
概算人件費(E)	4,898		4,898		4,697		5,135		5,135	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.62	0.00	0.62	0.00	0.61	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,994		7,103		8,542		9,013		9,013	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、交付目的達成のための必要性を審査しながら、交付を行う必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	スポーツ少年団事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市スポーツ少年団	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	発育発達途上にある少年少女を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費の一部を助成する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会、スタートコーチ養成講習会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費の一部を助成した。	各種大会により、団員の競技力・体力の向上はもとより、活動を通じた自主性の育成が図られた。また、救命講習会や各種会議を通して指導者・保護者の資質向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	5 細々目	スポーツ少年団事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200					
決算額(B)=(C)+(D)	1,200	1,200		1,200								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	1,200	1,200		1,200		1,200	1,200				
概算人件費(E)	5,135	5,293		4,928		5,135	5,135					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.67	0.00	0.64	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,335		6,493		6,128		6,335		6,335			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということに関係者によく理解してもらう。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	スポーツ推進補助事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援		
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱/県代表選手派遣交付金交付基準/川口市スポーツ・レクリエーション傷害見舞金に関する規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・公民館地区レクリエーション協会(33団体)市在在勤の方 ・全国大会等の派遣選手(団体または個人) ・スポーツやレクリエーション活動中に傷害を受けた市内に住所を有する方及び在勤・在学の方	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図り、活動する市民へ負担を軽減するため支援するもの。	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金 ・全国大会等に出場する選手に対しての派遣交付金 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付	地域の大会等でスポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られた。県を代表して出場する選手の経費負担が図られた。スポーツレクリエーション等に安心して参加してもらうことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	3 細目	6 細々目	スポーツ推進補助事業	
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度	
予算額(A)	15,927	15,927		15,927		15,927	15,927	
決算額(B)=(C)+(D)	13,023	14,117		15,557				
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	13,023	14,117		15,557		15,927	
概算人件費(E)	1,185	1,185		1,001		1,185	1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.13	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,208	15,302		16,558		17,112	17,112	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	全国大会等の派遣選手への交付金については、「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、継続的にあり方を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 21 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場・体育武道センターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	専門性の高い競技施設として機能し、県・関東・全国規模の大会会場として使用しており、各競技団体等との連携を図りながら円滑な施設運営を行い、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務等を委託した。	川口市のスポーツ拠点施設としての運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数(青木町公園総合運動場・体育武道センター)			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度目標値の1.5%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値					457,231.00	463,360.00	470,709.00	478,057.00	485,406.00
	実績値・達成状況	261,279.00	未達成	348,674.00	未達成	401,103.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	1 細目	4 細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	159,699	160,715		164,449		160,715	160,715			
決算額(B)=(C)+(D)	159,699	160,714		164,448						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	159,699	160,714		164,448		160,715	160,715		
概算人件費(E)	2,054	2,449		3,311		3,160	3,160			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.26	0.00	0.31	0.00	0.43	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	161,753	163,163		167,759		163,875	163,875			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	青木町公園総合運動場は、公園内の施設であり、公園所管課との管理区分に不明確な部分が存在する。公園所管課と管理区分について整理していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	戸塚スポーツセンターを運営する事業者	施設利用者及び地域住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	民間ノウハウを活用し、質の高いサービスを提供するとともにコスト削減を図り、市民の健康体力づくりにおけるスポーツの推進を行うもの。	専門性の高い施設として効率的に運営を行うことができる指定管理者による管理・運営で、競技力の向上や一般市民へのスポーツ活動の場を提供し普及を行うもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度を活用し、コナミスポーツ・日環サービスグループに施設全般の管理運営業務等を委託した。	川口市のスポーツ拠点施設として運営ができることや、専門的分野の技術力向上及び市民へのスポーツの推進に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度目標値の1.5%増とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	219,668.00	未達成	268,631.00	未達成	320,652.00	未達成			
	実績値・達成状況									
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	1 細目	5 細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	148,474	140,406		140,406		176,000	176,000					
決算額(B)=(C)+(D)	148,473	140,406		140,406								
財源※	特定財源(C)	8,900	0		0		0	0				
	一般財源(D)	139,573	140,406		140,406		176,000	176,000				
概算人件費(E)	2,054	2,449		3,311		3,160	3,160					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.26	0.00	0.31	0.00	0.43	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	150,527	142,855		143,717		179,160	179,160					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	開所から10年以上が経過し、設備や備品の故障が相次いでいる。施設管理者と情報共有を密にし、計画的に改善、更新を行っていく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認更新事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	青木町公園総合運動場陸上競技場	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	陸上競技場第3種公認更新に必要な整備を行う。	陸上競技場第3種公認更新に必要な整備を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	陸上競技場の補修工事。	補修工事を行うことで第3種公認の更新を行うことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	1 細目	10 細々目	青木町公園総合運動場陸上競技場第3種公認更新事業				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	0	0		112,900		0		0			
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		110,353							
財源※	特定財源(C)	0		100,000		0		0			
	一般財源(D)	0		10,353		0		0			
概算人件費(E)	0		0		1,155		0		0		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		0		111,508		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	経年劣化が進んでいる中、5年毎に公認の更新があるため、設備等の更新を計画的に行っていく必要がある。	翌年度 完了 翌々年度 -

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	スポーツ教室開催事業費			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市スポーツ教室等開催要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	スポーツ教室	スポーツ教室受講者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・シニアエイジ健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催するもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	ピラティス教室・ヨガ教室・水泳教室・シニアエイジ健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。	教室においては、主に30歳代から70歳代まで幅広い年齢層の参加により開催することができ、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上につなげるなど、市民のスポーツ振興に貢献することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数/開催回数(目標回数))						
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	実績値・達成状況	13.00		達成		12.00		達成		11.00		達成
指標②	名称	教室参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数/開催回数(目標回数)」						
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	実績値・達成状況	1,037.00		未達成		1,110.00		未達成		1,495.00		未達成

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	2 目	2 細目	1 細々目	スポーツ教室開催事業費					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	1,303	1,189		1,247		1,351		1,351				
決算額(B)=(C)+(D)	1,171	1,158		1,222								
財源※	特定財源(C)	508		733		1,118		1,351				
	一般財源(D)	663		425		104		0				
概算人件費(E)	711		553		616		1,106		1,106			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.07	0.00	0.08	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,882		1,711		1,838		2,457		2,457			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	各スポーツ施設の状況により事業内容や実施件数が異なることから、今後も施設の特性を活かしながら開催について検討が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	市民コンサート事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	広く市民が多彩な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。	市の施設を活用し、多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト登録制度に登録する若手アーティストの活動の場を提供する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・「市民コンサート」開催日 令和5年1月29日(日)場所 鳩ヶ谷駅市民センター多目的ホール出演者 川口オペラ・シンガーズ、Blanc Bouleau、Musica Foresta内容 オペラ、合唱 ・「ロビーコンサート」開催日 令和5年3月24日(金)場所 第一本庁舎1階多目的スペース出演者 PINET内容 ピアノと	「市民コンサート」入場者数200人。予想を上回る集客があり、会場に入れない方もいたため、会場規模と出演団体は慎重に選択する必要がある。また、「ロビーコンサート」は入場者数100人。新庁舎開庁後初めてのロビーコンサートは席を追加で用意するほど大盛況であった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績値の110%					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	0.00		80.00		200.00		達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目												
年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	1,036		896		1,104		1,104		1,104			
決算額(B)=(C)+(D)	0		770		855							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	0		770		855		1,104				
概算人件費(E)	0		2,212		2,156		1,896		1,896			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.28	0.00	0.28	0.00	0.24	0.00	0.24	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		2,982		3,011		3,000		3,000			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	今後の課題として、開催場所の確保は、現在一番苦慮するところであるため、各地区で数年に1度は開催できるよう調整する必要がある。また、出演者について、アーティスト発掘支援制度に登録されている方を積極的に活用していきたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	文化振興交付事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援				
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化芸術活動を行う市内の個人や団体			同左及び文化芸術を享受する市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の実現に役立つ。			文化芸術活動を行う市内の個人や団体を助成金・交付金によって支援する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	<ul style="list-style-type: none"> 市内で文化活動を行う個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、選考を経て10件を採択。10件へ助成金(各事業20万円)を交付。 青少年ピアノコンクール実行委員会、初午太鼓コンクール、美術展実行委員会、文化祭実行委員会へ交付金を交付。 			文化振興助成事業助成金交付10件、交付金交付4件。市民の自主的な文化事業や創造的な芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加、鑑賞する機会を提供した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の交付要望件数+1件				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	7.00 未達成		4.00 未達成		10.00 達成				0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目										
年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
予算額(A)	2,196		12,042		13,748		12,889		12,889	
決算額(B)=(C)+(D)	2,133		11,834		13,424					
財源※	特定財源(C)		945		2,535		2,000			
	一般財源(D)		10,889		10,889		10,889			
概算人件費(E)	9,796		10,349		10,549		10,981		10,981	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.24	0.00	1.31	0.00	1.37	0.00	1.39	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,929		22,183		23,973		23,870		23,870	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	川口市文化振興助成事業や、その他助成制度(国、県、財団等)について関係文化団体や個人へと広く周知することに注力し、財政面において支援していくことにより、その文化活動の継続と活性化の一助となることを目指す。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	美術館建設等検討事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	美術館			市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	中核市に相応しい文化の高揚を図り、心豊かな活力ある市民生活の実現に寄与することを目的とし、美術館建設に向け事業を推進する。			・美術館開設に向けての準備。		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	・美術館の建設候補地として新たに加わったリア隣接地での美術館建設の可能性について調査し、優位性が認められたためリア隣接地を美術館建設候補地とし基本計画を改定した。 ・美術館建設の基本設計実施			・美術館建設基本計画の改定 ・基本調査及び基本設計の実施		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額(A)		7,819	12,804	108,679	39,774	39,774
決算額(B)=(C)+(D)		1,374	12,220	38,833		
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	
	一般財源(D)	1,374	12,220	38,833	39,774	
概算人件費(E)		2,844	2,686	3,465	3,555	3,555
従事職員人数(人)	常勤	0.36	0.00	0.45	0.45	0.45
	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,218	14,906	42,298	43,329	43,329

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	美術館建設の候補地として、リア隣接地が新たに加わり、優位性が認められたため、建設候補地を変更し基本計画を改定した。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	寄贈作品展等事業			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民共有の財産である本市所蔵の寄贈作品や川口ゆかりの美術作品等を積極的に公開することにより、市内外に向け、本市の魅力を発信するとともに市民の文化力向上に寄与する。	寄贈作品や本市ゆかりの美術作品を中心とした展覧会を川口市立アートギャラリー・アトリアにて行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	令和4年6月4日(土)から6月19日(日)まで、川口市立アートギャラリー・アトリアにて川口市寄贈作品展第四弾「森敬介の描く風景」展を実施した。 令和4年10月29日(土)から11月13日(日)まで、川口市立アートギャラリー・アトリアにて川口市寄贈作品展第五弾「川口のアート、再発見。」展を実施した。	川口市寄贈作品展第四弾「森敬介の描く風景」展においては、市内在住の洋画家森敬介氏の作品を展示し、入場者数は1,792人となった。 川口市寄贈作品展第五弾「川口のアート、再発見。」展においては、二人の彫刻家の作品を展示し、入場者数801人となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	寄贈作品展における入場者数の平均値(1回あたり)			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の値の110%				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況	—		815.00	1,297.00					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	10 目	2 細目	7 細々目	寄贈作品展等事業				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	0	5,342		20,893		0	0				
決算額(B)=(C)+(D)	0	5,340		17,320							
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0				
	一般財源(D)	0		5,340		17,320	0				
概算人件費(E)	0		2,291		2,233		0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.29	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		7,631		19,553		0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
48 /60	課題としては感染症対策を講じながらも密にならないよう集客する難しさがあった。今後も広報周知については寄贈作品展の内容や状況に応じて検討していく。		翌年度	他事業に統合されて実施
			翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	アートギャラリー企画関係費			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1116,14502	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	企画展を通じてアートへの関心を高め、美術の鑑賞・創作活動の場を提供することにより、市民の美術に対する意識の高揚を図り、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会、講演会、講習会、ワークショップに伴う企画・運営・広報 ・展覧会実施に伴う展示制作 ・展覧会会場の管理・運営 	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主企画展覧会を2事業、25日実施した。 ・ワークショップを4事業、7日実施した。 ・実技講座・鑑賞講座・アートさんぽを4事業、5日実施した。 	感染防止対策を徹底し開催した企画展やワークショップ等では市民のアートに対する興味を喚起することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主企画事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	11,888.00		3,938.00		6,372.00		-		-
	実績値・達成状況	3,918.00	未達成	6,340.00	達成	4,564.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	11 目	1 細目	2 細々目	アートギャラリー企画関係費				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	8,616	8,442		3,729		0	0				
決算額(B)=(C)+(D)	7,095	6,622		2,686							
財源※	特定財源(C)	148		197		59	0	0			
	一般財源(D)	6,947		6,425		2,627	0	0			
概算人件費(E)	12,640		12,640		5,929	0	0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.60	0.00	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	19,735		19,262		8,615	0	0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	市民の活動も少しずつ活発になってきているため、今後もリピーターを確保するための新たな方法・手段を調査研究していく。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費			担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口総合文化センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口総合文化センター	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	芸術文化の振興とコミュニティの促進を図り、もって豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 川口総合文化センターの施設管理 地域に対する文化芸術の振興 	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	指定管理制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した。	事故等の問題なく運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	22 目	1 細目	1 細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	622,114	519,600		594,100		627,072	0				
決算額(B)=(C)+(D)	622,114	519,600		579,400							
財源※	特定財源(C)	66,211	60,579		0		70,726				
	一般財源(D)	555,903	459,021		579,400		556,346				
概算人件費(E)	1,817	2,054		2,002		2,054	0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.26	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	623,931	521,654		581,402		629,126	0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針		今後の実施方向性	
58 /60	なし		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	芸術賞賞賜事業			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,31-14503	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、各種表彰規程

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化芸術に携わる市民全般	文化芸術に携わる市民全般	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	長年にわたり本市の文化・芸術振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するもの。	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・11月3日川口駅前市民ホールフレンディアにて文化三賞表彰式、青少年文化活動奨励賞表彰式を開催。「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。 ・文化賞受賞者窪内絹子氏による記録展を同時開催。	受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。表彰式は、小さい子どもから大人まで幅広い世代の方々に参加いただいた。また、会場内で文化賞受賞者記録展を開催することで、一般の方も多数来場いただくことが出来た。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数×1.1(前年比10%増)				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況	20.00	未達成	200.00	達成	200.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額(A)		1,172	1,238	1,173	1,245	1,245
決算額(B)=(C)+(D)		369	911	897		
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	
	一般財源(D)	369	911	897	1,245	
概算人件費(E)		2,291	2,054	2,156	1,580	1,580
従事職員人数(人)	常勤	0.29	0.00	0.28	0.20	0.20
	再任用	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,660	2,965	3,053	2,825	2,825

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	表彰により個人や団体の活動が広がり、盛んになると考えることから、積極的に受賞候補者を推薦してもらう関係団体等へさらに働きかけていく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	文化団体補助事業			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14505	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援				
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市音楽協会補助金交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市文化団体連合会、川口市音楽協会			同左及び文化団体の活動を体験する、鑑賞する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことで、各種文化活動の促進、市民文化の高揚を図る。			川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】	
	川口市文化団体連合会、川口市音楽協会への補助金の交付			補助金により、川口市文化団体連合会及び川口市音楽協会への活動支援を行えた。新型コロナウイルスの影響はあったものの、前年度よりは少しずつ各団体の活動はできていた。市民の自主的な文化芸術活動の振興や、それに携わる人材の育成及び交流を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	117.00		116.00		116.00		116.00		0.00
	実績値・達成状況	116.00	未達成	116.00	未達成	116.00	達成			
指標②	名称	川口市音楽協会加盟団体数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	79.00		77.00		77.00		74.00		0.00
	実績値・達成状況	77.00	未達成	77.00	達成	74.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	2,300		1,900		1,900		1,900		1,900			
決算額(B)=(C)+(D)	1,703		1,900		1,900							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	1,703		1,900		1,900		1,900				
概算人件費(E)	1,422		1,027		1,232		711		711			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.13	0.00	0.16	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,125		2,927		3,132		2,611		2,611			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	文化団体活動を担う若い世代の獲得が課題である。団体への新規加入を目指し、団体のホームページの拡充など活動の周知を図る必要がある。今後も引き続き団体への情報提供や支援を行い、市内の文化芸術団体の活動を促進したい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	文化芸術体験事業			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14501	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び交流市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	幅広い分野の文化・芸術に関する事業の開催を通して市民が多彩なジャンルの文化・芸術を鑑賞する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。	市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、小・中・高校生の生徒を対象とした文化・芸術活動(特に伝統文化・伝統芸能)の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・令和4年12月11日(日)に「子ども和太鼓教室」を開催。 ・初午太鼓保存会の協力のもと、「初午太鼓」を体験。 ・会場は南平文化会館を使用。参加者27名、観覧者32名。	「子ども和太鼓教室」は30名の定員に対して、58名の応募があった。当日は、体調不良で3名欠席し、小学1年生から6年生まで27名の参加となった。川口の郷土文化である初午太鼓を通して、普段触れることのない文化芸術を体験することにより、様々な伝統文化の良さや味わいを感じ、関心を持ってもらうという目的に適した事業ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	発表会への観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度開催1日間観覧者数×1.1				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	0.00		0.00		32.00 達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	10 目	2 細目	2 細々目	文化芸術体験事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	332	232		318		321		321		
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		182						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		182		321		316		
概算人件費(E)	0		0		2,464		316		316	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.32	0.00	0.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		0		2,646		637		637	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	今回は初午太鼓を子どもたちに体験してもらったが、今後様々な文化芸術に関する事業を体験してもらうために、文化芸術団体及び個人の指導者に働きかけ、広い分野において協力者を得ることにより事業の継続的実施を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	アートギャラリー事業運営費			担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1116,14502	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり③ 文化芸術活動の支援
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び文化共催展などの関係団体(市内学校、川口市美術家協会など)	市民及び文化共催展などの関係団体(市内学校、川口市美術家協会など)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	文化共催展などの関係団体等に美術の鑑賞・創作活動の場を提供することにより、市民の美術に対する意識の高揚を図り、もって芸術文化の発展に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員(美術専門補助員、事務職員)に対する報酬の支払 ・展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究 ・共催展に関する展示、印刷物の配布 ・美術及び館運営等に関する情報収集 	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・共催展覧会を8事業、58日実施した。 ・貸しギャラリーで19団体、102日の貸館利用があった。 	前年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった事業について、コロナ禍に近い状況で開催することが出来た。貸しギャラリーにおいては、主催者が館作成の感染症防止対策にて対応を徹底し開催することで、市民の安全とアートに対する興味を喚起することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	共催・連携事業の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	19,467.00		0.00		2,180.00	-	-	-	-
	実績値・達成状況	0.00	-	2,170.00	-	13,046.00	達成			
指標②	名称	貸館利用の入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	入場者数の前年比0.5%増を目指す。				
	単位	人	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	8,137.00		4,139.00		4,210.00	-	-	-	-
	実績値・達成状況	4,119.00	未達成	4,190.00	達成	7,065.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	11 目	1 細目	1 細々目	アートギャラリー事業運営費				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	12,412	12,704		10,169		0	0				
決算額(B)=(C)+(D)	10,716	10,417		7,894							
財源※	特定財源(C)	1,077	1,475	1,289	0	0					
	一般財源(D)	9,639	8,942	6,605	0	0					
概算人件費(E)	14,220	14,220		11,473		0	0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.49	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,936	24,637		19,367		0	0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	貸しギャラリーの利用者が増え、来館者にアートに触れる機会を増やすことができた。今後も持続可能な共催事業の開催方法・手段を調査研究していく。		翌年度	他事業に統合されて実施
			翌々年度	他事業に統合されて実施